

現在の地区の取り組み

- 一人暮らし高齢者給食サービス
- 友愛訪問事業
- 一人暮らし高齢者集い事業（ひまわりの会）
- 地区別福祉懇談会
- 世代間交流事業
- 敬老会



地区別福祉懇談会

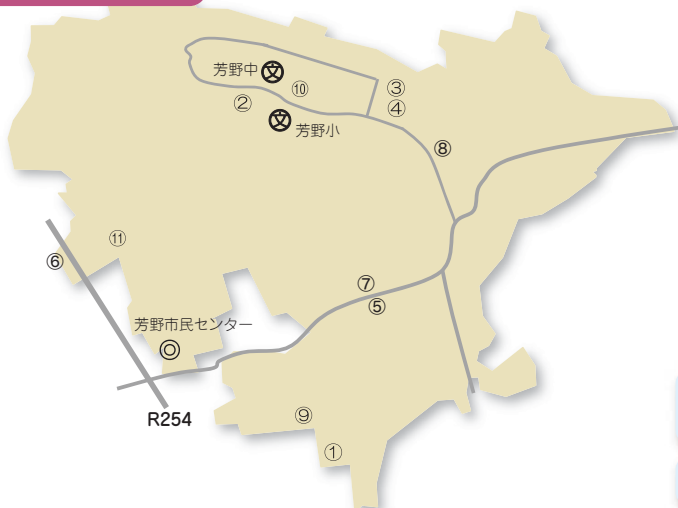


ひまわりの会



友愛訪問事業

福祉施設等地域資源



- 自治会数…………… 13
- 自治会集会所数…… 19
- 自主防災組織数…… 3
- 民生委員数…………… 8
- 保健推進員数………… 2
- ボランティア団体数… 1
- NPO団体…………… 3
- 老人クラブ…………… 2
- 病院…………… 1
- 一般診療所…………… 0
- 歯科診療所…………… 0

⑨ 川越ワークいちばん星

⑩ あゆみ工房

⑪ 芳野保育園

- ① 老人福祉センター東後楽会館
- ② あおぞらデイサービス
- ③ 介護老人保健施設 小江戸の郷
- ④ グリープホームふる郷川越
- ⑤ 介護ショップアポック川越店
- ⑥ リハデイ・すまいる

- ⑦ 埼玉医科大学総合医療センター介護支援センター
埼玉医科大学総合医療センター訪問看護ステーション
- ⑧ 真寿会デイサービスセンターよしの
ホームヘルプサービスよしの
真寿会居宅介護支援事業所よしの
地域包括支援センターよしの



芳野地区福祉プラン

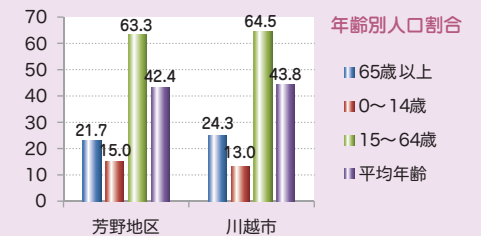
地区の特徴

市の北東部に位置し、北を入間川が流れ、川島町と接している。全域が豊かな農業地域である。一方で昭和55年に川越工業団地が完成した。現在は、圏央道川島IC開設等に伴い、(仮称)川越東環状線の拡張工事が進められている。また、南には川越運動公園が整備され、古谷地区との境には市民の憩いの場である伊佐沼公園も整備されている。

地域住民の状況

	芳野地区	川越市
●人口	5,823人 (前年比-0.15%増)	349,378人
●世帯数	2,204世帯	149,861世帯
●高齢化率	21.7%	24.3%

平成27年1月1日現在



地区の活動目標

目標1 地域の見守り体制を充実させましょう！

目標2 地域福祉活動を担う人材を育てましょう！

目標3 地域住民が交流できる場を増やしましょう！

エリアミーティングであげられた課題

- ◇高齢化が進んでいる
- ◇福祉サービスについて、何処に相談してよいかわからない
- ◇近所付き合いが少なくなっている
- ◇地域の安全や住民のマナーが低下している
- ◇子育ての支援体制が不十分である



● 高齢者への支援を充実させます

具体的な取り組み

- ▶ 地区社会福祉協議会を中心に、一人暮らし高齢者を見守り活動を充実させます。
 - ① 配食サービスを月1回行い、民生委員や自治会役員、ボランティアが一人暮らし高齢者等の見守り活動を行います。
 - ② 友愛訪問事業にて、一人暮らし高齢者宅を定期的に訪問し安否の確認を行います。自治会、班長、ボランティア等は、民生委員と協力して支援の必要な高齢者宅を見守るよう努めます。
 - ③ 地区社協で行う会食会「ひまわりの会」の活動を充実させ、一人暮らし高齢者の交流の機会を増やします。
- ▶ 高齢者を対象に保健推進員、包括支援センターが協力し健康づくりに取り組みます。
- ▶ 病気や怪我など緊急時に支援できる連絡体制を地域でつくります。
 - ① 緊急連絡カード事業などの情報を緊急時に活用する仕組みをつくります。
 - ② 救急情報シート事業を一人暮らしの方や高齢者のいる世帯に普及させます。

● 地域の安全をみんなで守ろう

具体的な取り組み

- ▶ 地域ぐるみで犯罪を防止する意識をもつため、防犯や防災に関する研修会を定期的に開催します。
- ▶ 地域で子どもの登下校時の安全を見守ります。
- ▶ 人気の少ない場所や事故の発生しやすい場所などを把握し、パトロールを行うなど安全対策を図ります。

● 地域福祉活動の担い手及び情報を発信する人材確保を行います

具体的な取り組み

- ▶ 地域でボランティアを育成し、地域活動の担い手を確保します。
- ▶ 大学生、高校生、その他の人に地域でのボランティア活動に加わってもらうよう働きかけます。
- ▶ 地区内の介護経験者の方に、どのようなサービスを利用したかなどを聞くとともに、情報交換の場をつくりまます。(オレンジカフェ等)
- ▶ 地域包括支援センター、自治会、民生委員は、合同で福祉制度等の勉強会を行います。

● 地域住民が交流する機会をつくりまます

具体的な取り組み

- ▶ 隣近所であいさつを積極的にいき、顔の見える関係を築きましょう。
- ▶ 隣近所で、お茶飲み会など友達づきあいから始められるよう、交流の機会をつくりまます。
- ▶ 地域住民は、自治会で開催する行事や市民センター、公民館で行われる講座等に、積極的に参加するように心がけ、住民同士の交流を深めまます。
- ▶ 自治会は、地域住民が参加しやすい行事を企画するよう努めます。特に、新しく地域に入ってきた世帯の参加を増やす工夫をまます。
- ▶ 自治会は、自治会館や集会所を活用し、集いの場をつくるよう努めます。
- ▶ 高齢者同士、生きがいや楽しみのため仲間をつくるよう声を掛け合いまます。
 - ① 老人クラブやサークル活動を活性化し、仲間との交流の機会をつくらう
 - ② 地区社会福祉協議会の交流行事に参加し、仲間づくりをまます
- ▶ 世代間交流事業を育成会が中心となり、様々な年代の地域住民が交流できる機会をつくりまます。
- ▶ 公民館にて小さい子どもと親が集まる場「プチサロン」を開催し、子育て世代の交流の機会をつくりまます。
- ▶ 公民館登録グループは、多くの住民が参加できるイベントを企画まます。

